

第5学年 国語科「説明会を開こう 和の文化〇〇」(全13時間)  
「和の文化について調べよう」(東京書籍・5年)

指導のねらい

- ・和の文化を伝えるという目的を持って、複数の本や資料から必要な情報を読むことができるようにする。
- ・興味のある和の文化について、伝えたい内容や目的に応じて、説明の構成を考え適切な言葉遣いで話すことができるようにする。

単元の実際

資料を活用して「和の文化〇〇」説明会を開こう

第1次 学習への意欲と見通しをもつ。

① 学習のねらいや単元全体の流れを確認する。

◇学習への意欲と見通しをもつ。

- ・教師のモデル「和の文化ゆかた」の説明を聞いて感想を交流させる。

第2次 説明会を見通して、教材文の内容を読む。

②～④ 教材文から「和の文化」に対する筆者の考えや説明の仕方(表現の工夫等)について考える。

◇文章構成図にまとめながら、教材文を読む。

- ・本論の3つの観点と用いられている資料を結びつけて考えさせる。

◇筆者の表現上の工夫を読む。

- ・読み手をひきつける表現の工夫とその効果について話し合わせる。

◇教材文の要旨をまとめ、それに対する自分の考えを書く。

⑤ 発表例から説明する時の適切な話し方について考える。

◇発表例を読んで、説明する時の話し方や資料提示の仕方について考える。

- ・資料などを提示しながら、目的に合わせて分かりやすく効果的に伝える話し方についてまとめ、効果的な伝え方を共通理解させる。

第3次 グループごとに「和の文化」について調べ、発表する。

⑥～⑬ 必要な情報を収集・整理した後、発表内容をまとめ資料の準備をし、説明会を開く。

◇グループで説明する「和の文化〇〇」を決めて、本や資料で調べる。

- ・伝えたい和の文化について、必要な情報をカード(付箋)に書いて集めさせる。

◇情報カードを使って説明の構成を考える。

- ・集めた情報を整理しながら、観点の順序や内容など説明の構成を考えさせる。
- ・他のグループの構成シートを見ながら、良い点を参考にさせる。

◇発表原稿を書き、資料の準備をする。

- ・情報カードを基に本や資料などを活用して、発表内容を考えさせる。

- ・分かりやすい説明になっているか、資料を提示するタイミングはどうかなどを視点として、グループで推敲させる。

◇聞き手を意識して、説明の練習をする。

- ・グループ同士で話し手や聞き手となってリハーサルをさせる。
- ・適切な速度や間の取り方など、よりよい説明を意識させる。

◇「和の文化〇〇」説明会を開き、話し手や聞き手となって交流する。

- ・聞き手の反応を確かめながら、資料を活用して説明させる。
- ・説明の構成や内容、資料に注目して聞かせる。

◇「和の文化〇〇」の学習を振り返る。

2ページ参照

他教科への広がり

○総合的な学習の時間

「人にやさしい町 中村」

- ◇校区の公共施設や道路などについて、工夫点や問題点などの気づいたことを資料を活用しながら説明する。

◇ 深い学びの過程・対話的な学びの過程・主体的な学びの過程を実現する工夫

⑥～⑬ 情報カードを使って説明の構成を考える。

授業の実際

☆本時の課題をつかむ。

情報カードを使って、聞き手をひきつける説明の構成を考えよう。

- ・イメージを持たせるためにT1・T2によるデモンストレーションを見せる。



これはいるよ。だって・・・

この言葉をつけたして、赤で書いておこう！

この情報はいるかな？



☆グループで集めた情報を整理し、構成シートを作る。

かかわり合う学習

- ◇「和の文化を受けつぐ」の文章構成図を参考にする。
- ◇集めた情報カードを選び、内容や順序を考えて貼っていく。
- ・「なぜ？」と、構成の理由を聞くことで思考を深め、全体への紹介につなげる。



・話す内容を整理していたグループを紹介

いらぬのはのけよう。歴史は時代の順に言ったらいいね。

時代が変わると味も変わるので・・・

☆他のグループの構成を見合う。(取材タイム)

- ・よさを参考にするために、グループで話し合いながら取材をさせる。
- ・取り入れたいことをメモさせる。



まてめに「受けつぐ」を入れたら、分かりやすい文章になるね。

☆グループで構成を見直そう。

- ◇取材して良いと思ったことを自分たちのグループの構成に取り入れる。

☆今日の学習を振り返る。

- ①友だちとの関わりで考えたこと
- ②これから生かしたいこと、について書く。

説明のはじめの紹介部分でどんなことを言ったらいいのかわかっていました。他のグループの人たちの構成シートには種類について書いていたので、私たちもそれを説明することに決めました。



【構成シート】

☆次時の学習について知る。

授業を終えて 成果(○)と課題(●)

- 児童の言葉に対して、「なぜ?」「どうやって?」と揺さぶることで、思考を深めることにつながった。
- グループで集めた情報を整理し、説明の構成を考えるという活動が付箋を活用することで視覚化でき、話し合いが活発に行われた。
- めあての共通理解を図り、活動の目的を児童に意識させることが必要である。
- 取材タイムでの関わりを深い学びにするために、取材の目的、形態(聞きに行くグループと質問を受けるグループに分ける)などの工夫をする必要がある。



☆授業の流れ ◇児童の学習活動 ・教師の働きかけ